Ⅲ．高大接続研究センターの活動

１．2020年度 活動報告

大谷　尚・高橋　まりな

（１）センターの体制

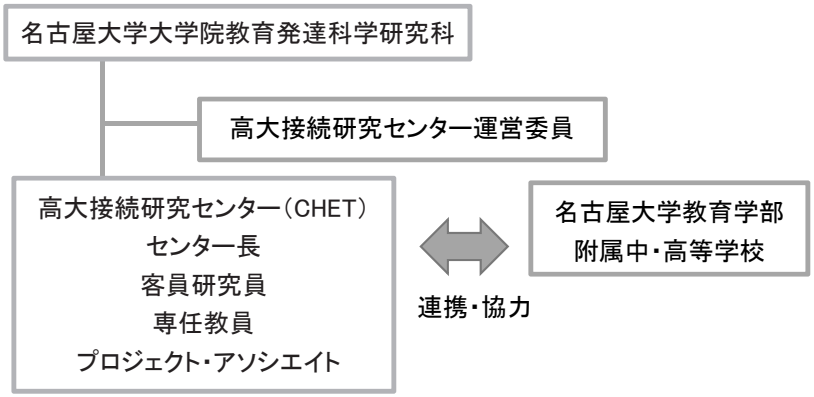
2019年度から引き続き柴田好章教授がセンター長､大谷特任教授が専任教員を務めた｡センターの業務についての実務的な会議は、柴田センター長、大谷特任教授、プロジェクト・アソシエイトで必要に応じて不定期に開催している。また、2021年3月16日にメールによる持ち回り審議で運営委員会を開催した。

〈2020年度　高大接続研究センター運営委員〉

氏　名	所　　属
柴田　好章	大学院教育発達科学研究科教授，高大接続研究センター長
大谷　　尚	大学院教育発達科学研究科特任教授，名古屋大学名誉教授
辻　　浩	大学院教育発達科学研究科教授，教育学部附属中・高等学校長
中谷　素之	大学院教育発達科学研究科教授
石井　拓児	大学院教育発達科学研究科准教授
生澤　繁樹	大学院教育発達科学研究科准教授
久野　弘幸	大学院教育発達科学研究科准教授
三小田博昭	教育学部附属高等学校副校長

（2020年４月現在）

〈高大接続研究センターの組織図〉



（２）活動報告

高大接続研究センターの事業は、①高大接続型教育とグローバル教育に関する調査研究、②高大連携プログラムの推進と高大接続のための高度化とAP化、③附属学校から名古屋大学へのグ

ローバル人材育成を目的とした高大接続入試の実現、④研究成果の社会への発信と高大接続のためのネットワーク構築、⑤教職に就くための高大接続改革についての理解を促進するプログラムの開発およびアドミッション・オフィサー養成プログラムの構築である。

①高大接続型教育とグローバル教育に関する調査研究

2020年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、調査のために参加予定であった106th AACRAO(American Association of Collegiate Registrars and Admissions Officers米国大学教務部・アドミッション部担当者協会) Annual Meeting（2020年４月５日-８日．ニューオーリンズ）が開催中止となり参加できなかった（これは開催日程が早かったためにオンラインへの移行ができず、開催は2021年に持ち越された）。また、令和２年度全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会（第16回）（2020年５月２日-４日.国立オリンピック記念青少年センター）も開催中止となった。それ以外にも、国内外での移動の自粛が要請され、センターの調査活動は例年より縮小することを余儀なくされた。

かわりに、各大学や各機関が積極的にオンラインシンポジウムやオンラインセミナーを開始した。センターでは、関連するものには可能な限り参加した。

日　　程	タイトル・内容	場　　所
３月26日	【第１回】４月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム	オンライン
４月３日	【第２回】４月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム	オンライン
４月10日	【第３回】４月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム	オンライン
４月17日	【第４回】４月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム	オンライン
４月24日	【第５回】４月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム	オンライン
５月１日	【第６回】４月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム	オンライン
５月８日	【第７回】４月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム	オンライン
５月15日	【第８回】４月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム	オンライン
５月21日	緊急ウェビナー・シリーズ「新型コロナ禍と国際教育」【第４回】コロナ禍と地球市民教育の課題	オンライン
５月21日	「実務家教員の育成にいかに取り組むか ー教育・雇用一体改革の視点からー」	オンライン
５月27日	外部アセスメント活用オンラインセミナー ～今どきの学生の傾向を考え、学生自ら動き出すために～	オンライン
５月29日	【第９回】４月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム	オンライン

5 月30日	JMOOCオンラインワークショップ「ネットワーク授業の隠れていた力を引き出す」	オンライン
6 月 5 日	【第10回】 4 月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム	オンライン
6 月12日	【特設セッション】オープンハウス2020： 4 月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム（6 /12オンライン開催）	オンライン
6 月25日	第184回招聘セミナー 17:00 ROBOT-PROOF（ロボット・プルーフーAI時代の大学教育に求められる新しいリテラシー	オンライン
6 月26日	【第11回】 4 月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム	オンライン
7 月10日	【第12回】 4 月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム	オンライン
7 月18日	関西地区FD連絡協議会　講演会・シンポジウム	オンライン
7 月31日	【第13回】 4 月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム	オンライン
8 月21日	【第14回】 4 月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム	オンライン
9 月 1 日	『新型コロナウイルス感染症』下の中退予防 ～充実した大学生活へのステップ～」	オンライン
9 月 4 日	【第15回】 4 月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム	オンライン
9 月11日	【第16回】 4 月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム：遠隔・対面ハイブリッド講義に向けての取り組み	オンライン
9 月12日	コンピテンシー・ベースの功罪―日仏における学校の教育実践をどう変えたか―	オンライン
9 月17日	大学マネジメントにおける危機管理とIRの役割	オンライン
9 月23日	オンライン教育の質保証をいかに実現するか	オンライン
9 月25日	【第17回】 4 月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム：遠隔・対面ハイブリッド講義に向けての取り組み	オンライン
9 月27日	北欧 3 カ国同時中継！『コロナ禍でどう変わった？北欧の暮らし・教育・福祉現地レポート』	オンライン
9 月29日	「コロナ禍と大学 ？ 高等教育と学生への影響」～テンプル大学ジャパンキャンパス　新学長就任挨拶	オンライン
9 月30日	千葉大学工学部斎藤恭一名誉教授FD「非伝統型大学教員への道は一日にして成らず」	オンライン
10月 9 日	【第18回】 4 月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム：遠隔・対面ハイブリッド講義に向けての取り組み	オンライン

10月17日	附属学校 協同的探究学習指導法研究会	オンライン
10月23日	【第19回】４月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム：遠隔・対面ハイブリッド講義に向けての取り組み	オンライン
10月31日	新学習指導要領と大学入試をつなぐ測定と評価の在り方	オンライン
11月４日	アカデミック・セントラル主催ウェビナー「東海国立大学機構における高大接続・高大連携 ー大学のあるべき姿の実現に向けてー」	オンライン
11月５日	なぜ、アメリカの大学入学選抜は日本の入試改革のモデルになり得ないか	オンライン
11月６日	【第20回】４月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム：遠隔・対面ハイブリッド講義に向けての取り組み	オンライン
11月16日	大学教育の新常態？ ―オンライン授業の経験は、持続的変化をもたらすか―	オンライン
11月20日	【第21回】４月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム：遠隔・対面ハイブリッド講義に向けての取り組み	オンライン
11月25日	2020年度秋季人権週間プログラム「LGBT学生の就活 ～誰にとっても働きやすい職場をめざして～」	オンライン
11月26日	セミナー「『フィンランド人はなぜ午後４時に仕事が終わるのか』の著者に学ぶ、フィンランドの柔軟な働き方とライフスタイル」	オンライン
11月３日	ウィズコロナ時代の学生生活をいかに支援していくか	オンライン
12月11日	2020レクチャーシリーズ第６回　公開特別講演「キャサリン･ルイス後援会」	オンライン
12月11日	【第22回】４月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム：遠隔・対面ハイブリッド講義に向けての取り組み ◆ドキッと驚くコロナ禍を乗越える超逞しい学生からの発表◆	オンライン
12月21日	COVID-19インパクトは大学教育の未来を変える―学習者中心の教育を再考する―	オンライン
12月25日	【第23回】４月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム：遠隔・対面ハイブリッド講義に向けての取り組み	オンライン
１月６日	第４回 名大米国フレンズ ウェビナー 鈴木健介氏「「本山原人」アメリカで経済学博士を目指す」	オンライン
１月14日	【第24回】４月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム：遠隔・対面ハイブリッド講義に向けての取り組み	オンライン
１月29日	【第25回】４月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム：遠隔・対面ハイブリッド講義に向けての取り組み	オンライン

2月12日	【第26回】４月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム：遠隔・対面ハイブリッド講義に向けての取り組み	オンライン
2月27日	高大接続ワークショップin九州産業大学 生徒・学生視点における教育改革としての高大接続	オンライン
3月３日	東京大学経友会「家族の幸せ」の社会学	オンライン
3月７日	フランスのバカロレアにみる論述型大学入試に向けた思考力・表現力の育成 オンライン書評会	オンライン
3月９日	大学IR入門講座「明日から"すぐ"使える大学IR」	オンライン
3月15日	アジアからの高大接続？国際アドミッションにおける日本式教育と予備教育	オンライン
3月18日	＜海外高大接続シンポジウムII＞国際バカロレア入試と高等教育資格承認を巡る課題	オンライン

ｉ カトリック校推薦入試に関するインタビュー調査

かねてから、米国のアドミッションズ・オフィサーの職務と最も近い仕事をしているのが日本のカトリック系大学のカトリック高校指定推薦入試の入試担当者ではないかと考えていたが、なかなか聴き取り調査が実現しなかった。この度、それが実現することになり、カトリック系のＡ大学で、カトリック高校対象推薦入試と多様化する入学者選抜方法の歴史と現状についてインタビュー調査した。

②高大連携プログラムの推進と高大接続のための高度化とAP化

高大連携プログラムの推進として、下記の企画を主催した。附属学校の生徒を対象に例年実施している「一日総合大学」および「中津川プロジェクト」は、附属学校との協議の上、本年度は実施を見送った。また、予定されていた附属図書館との連携事業についても学生を対象とした企画は年度内に実施せず、2021年度春にオンラインで開催する予定である。

i 学びの杜・学術コース学

高校生向け講座「学びの杜・学術コース」は、名古屋大学の教員を中心とした研究者たちが、それぞれの学問領域における大学レベルの「学び」を体験する機会を高校生たちに提供するもので、2005年の開始から15年目を迎えた。例年は愛知県内外の高校・高等専門学校から参加者を募集しているが、生徒の安全を考慮して、本年度は附属学校の生徒に限定して、講座を縮小して募集を行い、大部分をオンラインで実施した。

センター専任教員は第10回「科学における仮説とその検証」（2020年10月24日）を担当した。

ii 附属図書館との連携事業

昨年度から引き続き、本学の学部新一年生が大学での学びにスムーズに移行できるよう支援する目的で､附属中央図書館情報サービス課情報リテラシー係とのコラボレーション企画を進めた。

学部新１年生を対象に実施予定だった高大接続に関するセミナーは、当初予定していた対面での実施ができなくなり、学生たちのオンライン受講の環境整備も不十分であることが予想されたため、年度内の実施を断念した。2021年４月28日に第１回を開催する予定である。

同係の大学院生スタッフが毎年春学期に開催する、新入生向きのライティング・プレゼン講習会「これだけ講座」の教材づくりに参加した。この講座は2014年から継続して毎年４-５月に開催しているもので、当センターが関与するのは2020年度実施の第７回が初めてとなった。

③附属学校から名古屋大学へのグローバル人材育成を目的とした高大接続入試の実現

この事業内容は名古屋大学の第３中期目標に「K10 海外拠点等を活用し、海外の中等教育機関との連携を強化し、優秀な留学生の確保ができるよう、推薦制度の導入など選抜方法等の改善に取り組む。」とあることをその根拠として設定されたものである。しかし2017年度からの入学定員における留学生人数の扱いの変更や留学生教育についての本学のミッションについての再検討などを背景に、大学本部が第３中期目標からこれを削除したため、本研究科と本センターとしてもこの事業の直接の実現は断念し、新たな形態を再検討中である。

ただし、本学の指定国立大学法人構想と東海国立大学機構の設立による新たなマルチ・キャンパスシステムの樹立に伴う大きな変革の中で、また、2022年度からの名古屋大学の第４期中期目標・中期計画の中で、これを再度検討する状況が生じる可能性が無いとは言えないため、多様な情報収集を継続し、関係各方面と協議を継続している。

④研究成果の社会への発信と高大接続のためのネットワーク構築

当センターが開催した講演会と当センター教員による情報提供は下の表の通りである。なお、2020年３月に『高大接続研究センター紀要第６号』（本号）を発刊した。

	日　　程	タイトル・内容	場　　所
i	１月30日	受験学力形成を目指さない中高一貫教育は研究者養成にどう貢献するのか ―名大教育学部附属中・高等学校出身者による「中高大院」接続シンポジウム―	Zoom Webinarによる配信
ii	３月13・14日	教職を志望する名大生のための「高大接続」セミナー ―大学入試改革は今どうなっているのか？―	Zoom Meetingによる配信

ｉ受験学力形成を目指さない中高一貫教育は研究者養成にどう貢献するのか
―名大教育学部附属中・高等学校出身者による「中高大院」接続シンポジウム―

本シンポジウムでは「大学入学後も剥落しない学力」が育まれた例として、中高生の時からの問題発見・解決能力や知的関心を発展させ、それを職業に選んだ研究者たちに着目した。パネリストには菊田真由実氏（名古屋大学アジア共創教育研究機構特任助教）、千田嘉博氏（奈良大学文学部文化財学科教授）、中山佳洋氏（北海道大学低温科学研究所助教）、沼野恭子氏（東京外国語大学総合国際学研究員教授）を、コメンテータには根本二郎氏（名古屋大学アジア共創教育研

究機構教授）を迎えた。

２時間のプログラムの前半では「高大」接続を上下に広げた「中高大院接続」という観点から、中学から大学院までの15年以上のスパンで、研究者になった過程を登壇者が振り返った。後半はコメンテータによる総括と問題提起に続き、ディスカッションと質疑応答を行った。詳細は本誌第Ⅰ部に掲載している。

Zoomウェビナーでライブ配信を行い、参加者は112名であった。内訳は中学・高校関係者が12名、中高生12名、中高生保護者19名、大学生１名、大学院生６名、大学教員26名、大学職員18名、その他が18名であった。

ii 教職を志望する名大生のための「高大接続」セミナー

―大学入試改革は今どうなっているのか？―

今年度は副題を「大学入試改革は今どうなっているのか」とした。

例年は参加者の都合を考慮して理系地区・文系地区で各１度ずつ開催してきた。今年度はオンラインでの開催としたため地理的な配慮は必要なかったが、参加者が日程を調整しやすいようにする目的で、学業や職務と重なりにくい土曜と日曜の計２回の開催を維持した。参加者は13日10名，14日７名であった。

名古屋大学大学院教育発達科学研究科　附属高大接続研究センター

受験学力形成を目指さない中高一貫教育は研究者養成にどう貢献するのか

―名大教育学部附属中・高等学校出身者による「中高大院」接続シンポジウム―

◆パネリスト

名古屋大学アジア共創教育研究機構 特任助教
菊田真由実氏（熱帯作物学）

北海道大学低温科学研究所 助教
中山佳洋氏（極域海洋学）

奈良大学文学部文化財学科 教授
千田嘉博氏（城郭考古学）

東京外国語大学総合国際学研究院 教授
沼野恭子氏（ロシア文学）

◆コメンテータ

名古屋大学アジア共創教育研究機構 教授
根本二郎氏（計量経済学）

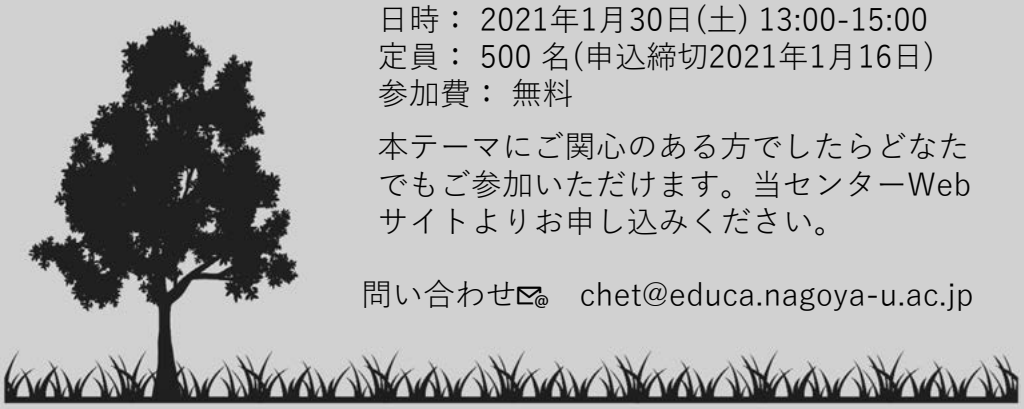
研究者たちの探究心は学校・大学生活を通してどのように守られ，育まれてきたのでしょうか。昨今の高大接続改革が問題視する，大学入学後に剥落してしまう「受験学力」ではない，維持される知的能力としての「学力」について，パネリストの体験を振り返りながら考察します。

Zoomウェビナーによるオンライン開催

日時： 2021年1月30日(土) 13:00-15:00
定員： 500 名(申込締切2021年1月16日)
参加費： 無料

本テーマにご関心のある方でしたらどなたでもご参加いただけます。当センターWebサイトよりお申し込みください。

問い合わせ✉　chet@educa.nagoya-u.ac.jp



教職を志望する名大生のための「高大接続」セミナー
—大学入試改革は今どうなっているのか？—

ZOOM によるオンライン開催

教職志望のあるなしに関わらず名大の学生・教職員なら
どなたでもご参加頂けます.

当センターでは，主に教職志望の学部生・大学院生を対象に「高大接続」に関するセミナーを毎年、教員採用試験前の 6 月に開催してきました.

ただし今年度は新型コロナ感染症の影響で開催できないでいました．そこで、教職に就く予定の学生にとって、その直前である 3 月にオンラインで２回開催することにしました．授業や業務に支障のない土日に開催します．両日の講演内容は同じですのでどちらかご都合の良い方に申し込んでください.

3 月 13 日（土） 13:00-14:30 （質疑応答を含む）
3 月 14 日（日） 13:00-14:30 （質疑応答を含む）

・セミナー講師：大谷 尚（名古屋大学大学院教育発達科学研究科・特任教授.
名古屋大学名誉教授．元教育学部附属中･高等学校長）
・実施方法：ZOOM によるオンライン
・定員：各回 50 名（申し込み締め切り 2021.3.10（水））
・参加費：無料
・申し込み方法：以下の高大接続研究センターの WEB ページから
申し込みフォームに進んでお申込みください.

高大接続研究センター WEB ページ
http://chet.educa.nagoya-u.ac.jp/

お問い合わせ
名古屋大学大学院教育発達科学研究科附属 高大接続研究センター
chet@educa.nagoya-u.ac.jp

〈Webページ〉

2015年度に開設した本センターのWEBページでは、高大接続に関する最新情報や全国の大学に設置されている高大接続関連の研究センターへのリンクを掲載し、高大接続関係のあらゆる情報がこのページを通して得られるように、引き続き内容の充実を図った。

⑤教職に就くための高大接続改革についての理解を促進するプログラムの開発およびアドミッション・オフィサー養成プログラムの構築

まず、このテーマの前半「教職に就くための高大接続改革についての理解を促進するプログラムの開発」については、④のi・iiの準備と実施およびそこで得られたフィードバックを基盤として開発を継続している。

またそれを含む「アドミッション・オフィサー養成プログラムの構築」については、これまでおこなってきたアメリカの大学のアドミッション部門の調査（2017年３月13-20日）（大谷・依田, 2018)、アメリカの大学側と高校側の大学進学カウンセラーの全国組織NACAC(National Association for College Admission Counseling)の年次会合での調査(2017年９月14-16日.ボストン)（大谷2018)、日本でほとんど知られていないアメリカの大学進学独立カウンセラー（independent college counselor）の全国組織HECA(Higher Education Consultants Association)の年次会合(2018年６月11-15日.ダラス）（大谷2019)、そして今年度のAACRAO(American Association of Collegiate Registrars and Admissions Officers)によるSEM(Strategic Enrollment Management)年次カンファレンス調査などの蓄積に基づき、また本研究科執行部の将来構想との連携を図りながら、養成プログラムのモデル構築を進めてきている。

ただし今年度、調査のために参加する予定であった106th AACRAO Annual Meeting（2020年４月５日-８日．ニューオーリンズ）は、新型コロナ感染症のために開催中止となり、参加できなかった。またこれは、予定が早かったため、オンラインへの移行ができず、106回はあらためて2021年３月29日-４月１日にオンラインで開催することとなり、センター専任教員がすでに参加登録した。